

「日々の理科」(第 2377 号) 2021, -1, 14

## 「コールド・ムーン (2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

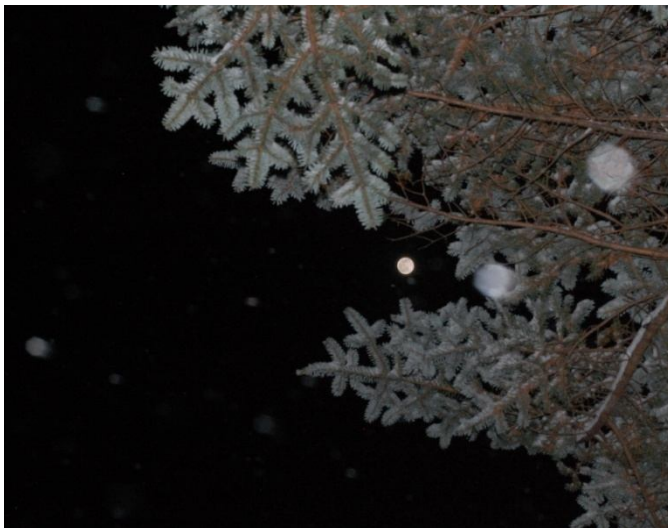
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

2020 年 12 月 30 日の晩、この日は激動の 2020 年最後の満月で「コールド・ムーン」と呼ばれる月が見られる。残念ながら北軽井沢は夕方から雪で、あきらめて寝支度をしていた。



ところが、月が昇ってしばらくたった時刻になると、雪が止んだ。私はパジャマの上に防寒着を着込んで、三脚をかついで外に出た。恐ろしく寒い。こんな服装で撮影できるような気温ではない。



夕方から降っていた雪のおかげで、モミの枝に雪がうっすらと積もっている。その間に満月が見えた。しかも少し雪も舞っている。まさしく「コールド・ムーン」の名にふさわしい構図になった。雪粒とモミの枝を目立たせるために、フラッシュを弱く当てている。



モミの枝は数 m の距離だが、月までは約 40 万 km もある。両方にピントを合わせるには、少しカメラの「絞り」を落とすと良い。



モミの枝に囲まれた「コールド・ムーン」も撮影してみた。これはなかなか面白い構図になった。



更にズームレンズを望遠側にして、モミも月もアップにしてみた。何か「針葉樹の森から昇る満月」みたいな、とても幻想的な写真になったと思う。

